

①「介護福祉士国家試験」の受験には、実務者研修修了が必須!

平成28年度の介護福祉士国家試験から受験資格として、実務経験3年に加えて実務者研修の修了が義務づけられました。

②サービス提供責任者になれる!

訪問介護事業所で必ず配置されるサービス提供責任者になるためには、実務者研修の修了か介護福祉士の資格が必要になります。

③たん吸引と経管栄養が学べる!

原則として医師や看護師以外に認められなかった、たん吸引や経管栄養の基礎知識を学ぶことができます。



訓練内容

在宅介護や施設介護において、利用者の状態像に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。

訓練目標

介護サービス事業所で即戦力として活躍できる人材育成を目指し、介護サービスの実践的な知識及び技能を習得する。

訓練概要

訓練期間	令和7年3月31日～令和7年9月29日 ※訓練休み 土日祝
訓練時間	9時15分～15時30分
訓練内容	座学(学科)・実技
自己負担額	受講料無料※テキスト代11,000円(税込み) ※職場見学(1日間)、実習先(2日間)への交通費、健康診断にかかる費用は実費
定員	24名※定員に満たない場合は訓練を中止する可能性があります。
訓練対象者の条件	特になし
取得資格	介護福祉士実務者研修修了者


募集要項

募集期間	令和7年1月6日～令和7年3月6日
申込方法	令和7年3月6日までに最寄りのハローワークで職業相談手続き後、受講申込書および写真(3×4cm)を有限会社ウェルフェアへ提出。郵送の場合は3/6必着。持参の場合は17時まで。
選考日時	令和7年3月13日
選考会場(訓練実施場所)	有限会社ウェルフェア
選考方法	筆記試験及び面接
持参物	筆記用具(鉛筆、消しゴム)
選考結果通知日	令和7年3月18日

有限会社ウェルフェア
〒890-0056 鹿児島市下荒田1丁目8-11
松久保ビル2F

TEL:(099)286-0702
FAX:(099)286-0703
e-mail:info@welfare-kaigo.com

担当:竹下、峯崎
受付時間【8:30～17:30 月～金】



新型コロナウイルス感染症防止対策

- 入室前の体調確認・消毒液の設置・マスクの着用・間隔を確保した座席の配置
- 毎日、訓練終了後に消毒の実施

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 有限会社ウェルフェア

訓練概要		在宅介護や施設介護において、利用者の状態像に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。【短時間】【職場見学等推進】							
科目		科目の内容			訓練時間				
学 科	就職支援	ジョブカードの作成支援、就職活動の進め方、履歴書・職務経歴書の書き方、面接技法			8時間				
	介護職務の理解	安全衛生、多様なサービスの理解、介護職の仕事理解や働く現場の理解			5時間				
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と尊厳・自律の支援・人権と尊厳			5時間				
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的・基礎的理解・専門職の役割			5時間				
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉・地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援制度・介護実践にかかわる諸制度			30時間				
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理			10時間				
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護従事者の安全			20時間				
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、コミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション			20時間				
	生活支援技術Ⅰ	生活支援とCF、居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔の生活支援技術の基本、家事援助の基本			20時間				
	発達と老化の理解Ⅰ	こころの変化と日常生活への影響・からだの変化と日常生活への影響			10時間				
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等			20時間				
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本			10時間				
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人への支援の実際			20時間				
	障害の理解Ⅰ	障害福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本			10時間				
	障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際			20時間				
	こころとからだのしくみⅠ	移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠に関連するからだのしくみ			20時間				
	介護過程Ⅰ	介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ			20時間				
	介護過程Ⅱ	介護職による介護過程の展開・実践的展開・施設、在宅で暮らす高齢者の介護過程、演習課題）介護老人福祉施設で生活する事例			25時間				
	介護過程Ⅲ	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援			15時間				
医療的ケア	医療的ケア実施の基礎（安全な実施、関連する法制度や倫理、感染予防・安全管理体制）			50時間					
実 技	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、居住環境の整備			30時間				
	介護過程Ⅲ	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援			30時間				
	こころとからだのしくみⅡ	人間の心理・人体の機能と構造、移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠・人生の最終段階のケアにおける観察のポイント			60時間				
	医療的ケア演習	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）、喀痰吸引演習（口腔・鼻腔・気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃瘻、腸瘻、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習			25時間				
	実習事前事後講習	講義で学んだ内容を実習で活用するために介護技術の確認			10時間				
	介護記録の書き方	計画書や報告書の書き方、ケアプラン等・利用票・提供票の意味			5時間				
	振り返り	講義で学んだ知識及び技術の振り返り・修了評価			5時間				
企業実習	実施しない	<input checked="" type="checkbox"/>	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		10時間			
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	実施日	令和7年5月7日	内容	介護職に求められる接遇	5時間			
	【職業人講話】	実施日	令和7年9月26日	内容	高齢者社会と地域包括ケア	5時間			
	【職場見学】	通所系サービス・訪問系サービス・施設系サービスの現場見学 事業所：プライアンス御召覧、ヘルパーステーションよしの、デイサービス笑顔、グループホームよしの村南洲の杜、愛光園、グループホーム清滝、特養かもいけ、ヒバリーヒルズ池之上 実施日：令和7年6月27日				5時間			
訓練時間総合計	533時間	学科	343時間	実技	165時間	企業実習	10時間	職場見学等	15時間
受講者の負担する費用	教科書代				11,000円	合計	11,000円		
	その他（				）				
	備考（	職場見学（1日間）、実習先（2日間）への交通費、健康診断にかかる費用は実費			）				